

【経営学部】令和6年度 学部教学マネジメント報告書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制の変更点 ※計画書から変更があった場合

経営学部教学マネジメント会議は、学部長、副学部長、学部教務委員長、入学試験委員、広報委員長、就職・進路支援委員、学部FD推進委員長（副学部長）、自己点検評価委員長（学部・大学院）で構成されている。

2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの改善に向けた今年度の取り組みと取り組みを通して明らかになった課題

今年度の取り組み

① カリキュラムマップ

カリキュラムマップにおける「専門知識・専門技能」の検証と洗い出しを行った。

② シラバス

シラバスの検証を行った。

③ その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等）

カリキュラムツリー、ナンバリング等の検証を行った

課題

学部教学マネジメント会議を中心に検証を行い、学部公開授業とFDワークショップを介して学部教員間で包括的な理解を図った。さらなる包括的理解に向け、引き続き改善していくこと。

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化の今年度の取り組みと取り組みを通して明らかになった課題

今年度の取り組み

学習成果実感調査の徹底と科目ごとの分析による学修成果の検証と課題の洗い出し

課題

上記の検証と課題の洗い出しが十分に組み立てていたかどうか、学部教育マネジメント会議にてさらに検証したい。

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況の評価と明らかになった課題

評価（授業科目の到達目標の達成状況 および 学生の資質・能力の修得状況）

学生の資質・能力の修得状況が適切に測定できているか、アセスメント科目を介して検証していく必要がある。

課題

アセスメント科目を中心に、上記の課題について取り組んでいく。

アセスメントプランの取り組み

① 結果

アセスメント科目を中心に学修成果、教育効果を検証し、3つのポリシーとの整合性を図った。

②課題

特になし。

※この内容は令和6年度以降、本学における教学マネジメントの一環として、本学 HP への掲載を検討します。